

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和6年 9月 30日

和泉市長 あて

団 体 名 緑ヶ丘まつり実行委員会
代表者名 藤原 浩治
所 在 地 和泉市緑ヶ丘一丁目10番1号
電話番号 0725-38-1101

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	緑ヶ丘まつり
申請コース	(1) 公益活動支援コース □チャレンジコース □ステップアップコース (2) 地域活性化コース ☒ 地域活性化コース
事業費総額	1,350,000 円 (うち、対象経費 980,000 円)
支援金 交付申請額	490,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第2号（第7条関係）

團體概要調書

フリガナ	ミドリガオカマツリジッコウインカイ		
団体名	緑ヶ丘まつり実行委員会		
団体の目的	緑ヶ丘校区及び近隣校区に対して、まつりを核としたイベントの企画実行を通して地域の活性化を目的とする。		
市内事務所の所在地	〒594-1155 和泉市緑ヶ丘一丁目10番1号		
	【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ その他（緑ヶ丘自治会館）】		
	電 話	0725（38）1101	F A X （ ）
フリガナ	フジハラ コウジ		
代表者氏名	藤原 浩治		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	（連絡責任者氏名） フリガナ フジハラ コウジ		電 話 0725（38）1101
	藤原 浩治		F A X XXXXXXXXXX
	（住所）上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	平成 23 年 4 月	主な活動地域	緑ヶ丘校区
会報等の発行	有（ 回発行）・ 無	会員数	1750 人
メールアドレス	XXXXXXXXXX@XXXXXX.XX		
ホームページ	http://		
主な事業内容	まつりの企画実行		
主な活動の実績	過去 11 回の夏まつり実施 令和 1 年度から 4 年度は新型コロナウイルス感染症対策で中止 近年令和 5 年度 6 年度に実施		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 （過去 3 年間の 実績を記載）	年度	名称	金額（円）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	緑ヶ丘まつり
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース ☐ チャレンジコース ☐ ステップアップコース (2) 地域活性化コース ☒ 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 緑ヶ丘校区及びその近隣は新旧の住宅地が混在し発展を続けている。 住民同士の意思疎通の希薄化を防ぐ手立てとして、伝統的なイベントがないので住民発案で夏にまつりを実施していたが、事業内容は変更せずに近年の猛暑を考慮して開催時期を秋頃に変更することとした。	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 シニア世代、子ども世代も参加する全世代型のまつりを企画実行する。世代間、地域間の協働、共生を実践の場での促進と孤独化緩和の一助とする。これによって、世代間、並びに地域の活性化を図る。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 模擬店、会場を住民パワーで設営、運営を行う。 大雨や台風等による不測の事態にも対応できるように計画に織り込んでおく。 開催開始時間を早くして子ども世代の参加に期待する。 子ども世代だけでなく全世代に体験参加していただけるようなまつりとする事で、地域の活性化を図る。 ・ 模擬店・・・桃山学院大学駐車場会場 （うちわ作り、ダーツ、わなげ、卓上カーリング、くじ引き） ・ 夜店&ホールでの体験発表・・・自治会館会場 （チョークアート教室）	
③ 実施期間（日時）	令和7年11月1日(土)14時～20時（予備日11月8日）
④ 実施場所	いずみ緑ヶ丘自治会館及び隣接の桃山学院大学駐車場
⑤ 主な対象者	緑ヶ丘校区及びその近隣校区住民
⑥ 参加予定者数	1500人程度
⑦ 告知方法	・ 緑ヶ丘校区の住戸並びに広告協賛者に約1300枚のチラシを配布し祭りの催しについて周知している。 ・ その他、回覧、掲示板を利用する。

5 事業スケジュール	
時期（月）	内容 ～9月中 事業の在り方協議、事業企画・エントリー準備 9月末 事業申請 1～4月 実行計画の立案、出店者・出演者等の参加者募集、審査会 5～10月 出店者も含め実施計画、運営体制の調整・確立 11月 まつりの開催（11月1日） 12月 反省会実施、次年度企画検討
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）	
①公益性	① まつり後の反省会・アンケートにて、参加者の反応、意見を集約しており、約8割が良かったとの評価、継続を望むものもほぼ同等である。 ② 家族連れの参加も多く、運営も住民主体でオープン参加のため自然と交流の場を提供できており、世代間地域間の協働促進となっている。 ③ 世代間地域間の協働促進となり、住民同士の意思疎通の希薄化を防ぐことに繋がる。
②継続性	④ 平成26年度より、市の支援（ちょいず）によるまつりを継続実施しており、地元に着したイベントになっている。 ⑤ イベントに参加することで、他のことに関してもより住民の参加意識が高まる効果が見られる。他のイベント（歌声喫茶、年末パトロール、避難訓練など）への参加意識も高まっている。 ⑥ 団体協賛金、事業収入、広告料で費用の大部分（約6割）を賄っている。
③実行性	⑦ 地域の核となるイベントになるよう地域の特性に合わせ自治会館を会場として催す。前年度実績等から事業計画、予算を立案している。 ⑧ 自治会及び子ども会、シニアクラブ、地域団体で実行委員会を組織し、事務局を自治会館に置くなどの管理体制を敷いている。 ⑨ 対象経費：98万円に対し、支援金交付申請額：49万円としている。収支のバランスもとれている。 ⑩ 毎月、委員会を実施し事業計画、予算について検討している。
④協働性	⑪ 桃山学院大学、緑ヶ丘小学校など緑ヶ丘校区近隣の団体に参加を呼びかけ、子ども遊び広場の催しなどに参加していただいている。 ⑫ まつりの実行に当たっては、関係者による実行委員会で調整の場を持っている。 ⑬ まつりの運営は、実行委員会のメンバー、参加団体の他、ボランティアも参加し住民主体としている。また、子どもからシニアまで世代を超えて交流することができる場となっている。
⑤公開性	⑭ 緑ヶ丘校区並びに近隣校区の住戸並びに広告協賛者に約1300枚のチラシを配布し、まつりの催しについて周知している。 ⑮ まつりの出店者・出演者募集は地域の活動団体に、運営ボランティアは住民に回覧等の募集により参加を呼び掛けている。
⑥発展性 （先駆性・ 展開性） （集客性）	⑯ 緑ヶ丘校区並びにその近隣より、子どもたちからシニアまで家族連れが多く来場し、毎年約千人超の参加者が楽しんでいる。 ⑰ 開催開始時間を早くすることで大人向けと子ども向けとのゾーンに分け、幅広い世代が参加できるよう工夫する。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称： 緑ヶ丘まつり

1. 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	490,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	300,000	屋台村の売り上げ
	250,000	一般協賛の広告掲載（1口1万円）
自主財源	310,000	団体協賛金（自治会、子ども会等）
合 計	1,350,000	

2. 【支 出】 (単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	100,000	出演：1万円5団体 参加賞5万円（250円*200名）
消耗品費	250,000	段ボールゴミ箱、事務用品、消毒用品 市民を対象にふるまう食材費、設営材料 他
印刷製本費	20,000	パンフレット、チラシ 1300部（A3 カラー両面）、掲示用ポスター、回覧コ ピー
役務費	10,000	保険料、ごみ処分手数料、代引き手数料
委託費	100,000	警備業務、営繕（会場設営）、チラシ配布
使用料及び賃借料	350,000	業者よりレンタル、設置・撤去作業含む
原材料費	150,000	コンパネ（テーブルの作成用）
報償費（対象外）	300,000	設営・撤去費（団体内人件費）
消耗品費（対象外）	50,000	景品
食糧費（対象外）	20,000	スタッフ作業時飲料水 （100円*200名分）
合 計	1,350,000	
対象経費	980,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。